



東風

〇月〇日

『明るく伸びる子』

〇考える子 〇助け合う子 〇やりぬく子
〇じょうぶな子

【重点目標】

『わくわく 東校』

なりたい自分に向かって、あきらめずにやり抜く子

令和5年9月末日発行 ホームページ特別号

読書のすすめ

校長 赤松 慎也

少しずつ気温が下がり、学習に集中しやすい季節に向かっていきます。

9月頭の全校朝会で、子供達に「読書の習慣をつける3つのコツ」を紹介しました。

1. 短い作品から読書してみる。
2. 好きな分野を攻めてみる。
3. 読書タイムを設定してみる。

お子様の様子に、良い変化があることを期待しての講話でした。

小学生の子供達が読書をすることによって大きく4つのメリットがあります。

1. 理解力や語彙力が身につく
2. 知識が増える
3. 集中力がアップする
4. コミュニケーション能力の向上

どれも身に付けてほしい内容ですが、実は子供達の読書習慣の定着に最も効果的なのが、「親が率先して読書をする」だそうです。

「本を読みなさい」と子供に話しても、テレビやゲームには興味を示して実現しないことが多いですね。

読書に親しんでもらうには、保護者が自ら子供を図書館に連れていく、絵本の読み聞かせをする、本を買いに行く、自ら進んで本を読むなど、保護者自身が読書に親しむ様子を見せることが重要です。

【事態は学校でも同様で…朝読書の時間に先生が読書をする姿を見せたいのですが、…。現実には宿題の丸付けや連絡ノートの記入などに時間を割かれているようです。学校も働き方改革を進め、子供達と共に読書に親しむ時間確保に努めます。】

小学生にとって「読み書き計算」は学習の基礎です。本を読むことでより多くの語彙力や表現力、知識を身につけることができるので、総合的な学力アップにつながります。学校とご家庭で連携して読書に親しむ機会を作り、子供達の学力の底上げを図っていけたらと考えています。